



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年10月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2024年9月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報（2024年9月分）

◎2024年9月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回り、中古車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

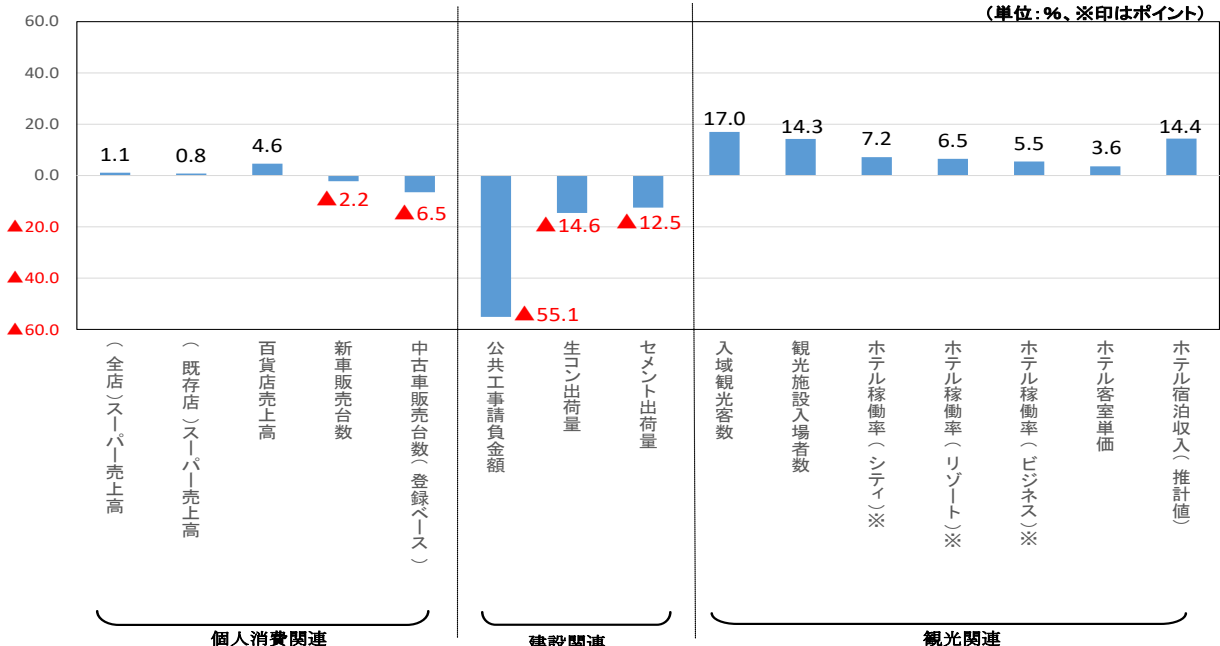
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、このところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

（2023年10月の上方修正から12か月連続で判断維持）

主要景気指標前年同月比（増減率）

（単位：％、※印はポイント）



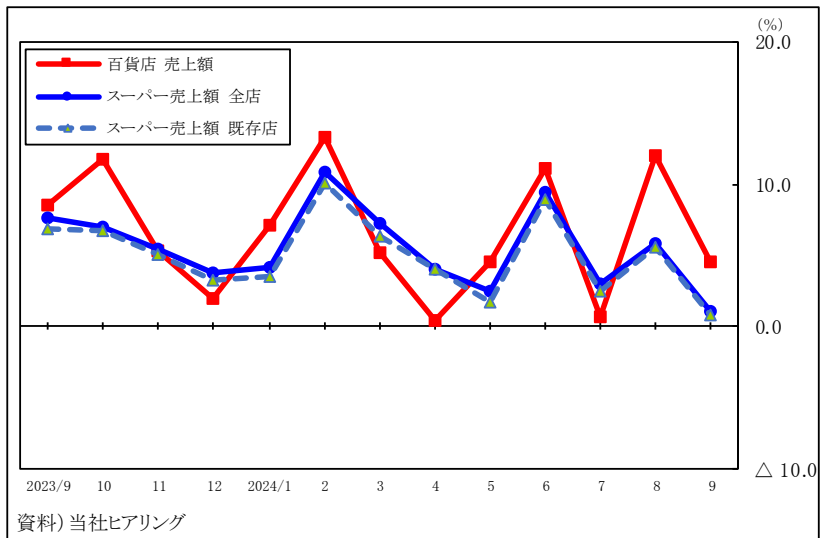


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5
6	9.4	8.9	11.1
7	3.0	2.5	0.7
8	5.8	5.6	12.0
9	1.1	0.8	4.6



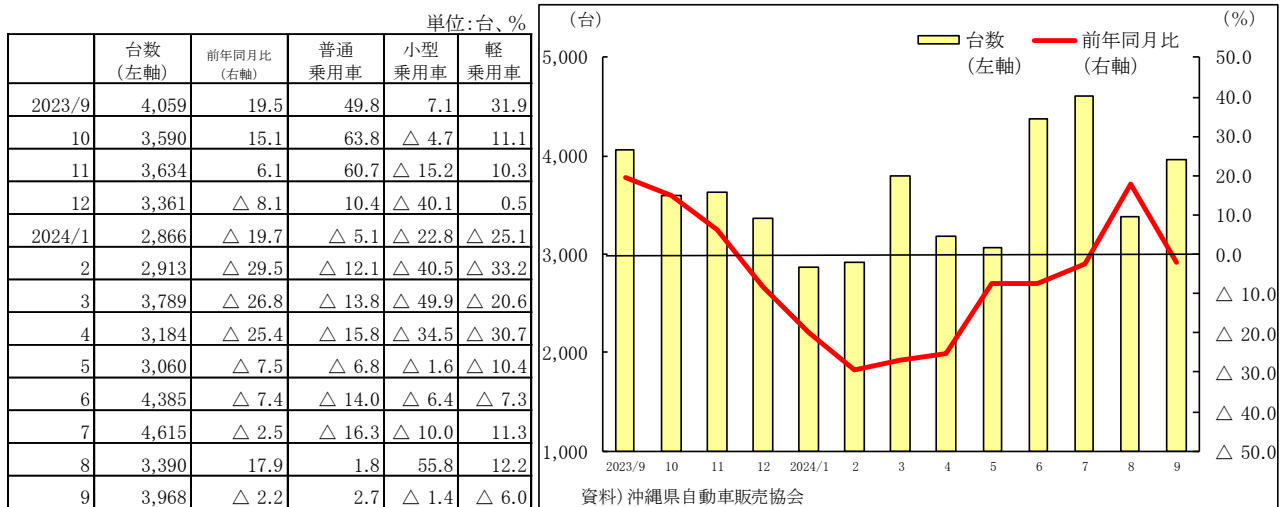
注) 前年同月比

9月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.1%増)」は、28ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.4%増)」は、物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 0.7%増)」は、店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 3.1%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 0.8%増)」は、28ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.4%増)」、「衣料品(同 3.5%増)」は、前年同月を上回りました。「家庭用品(同 14.5%減)」は、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、16ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 4.6%増)。品目別では、「食料品(同 3.4%増)」は、催事企画の実施などにより前年同月を上回りました。「身廻品(同 14.2%増)」、「雑貨(同 23.5%増)」は、新店舗のオープンや免税売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

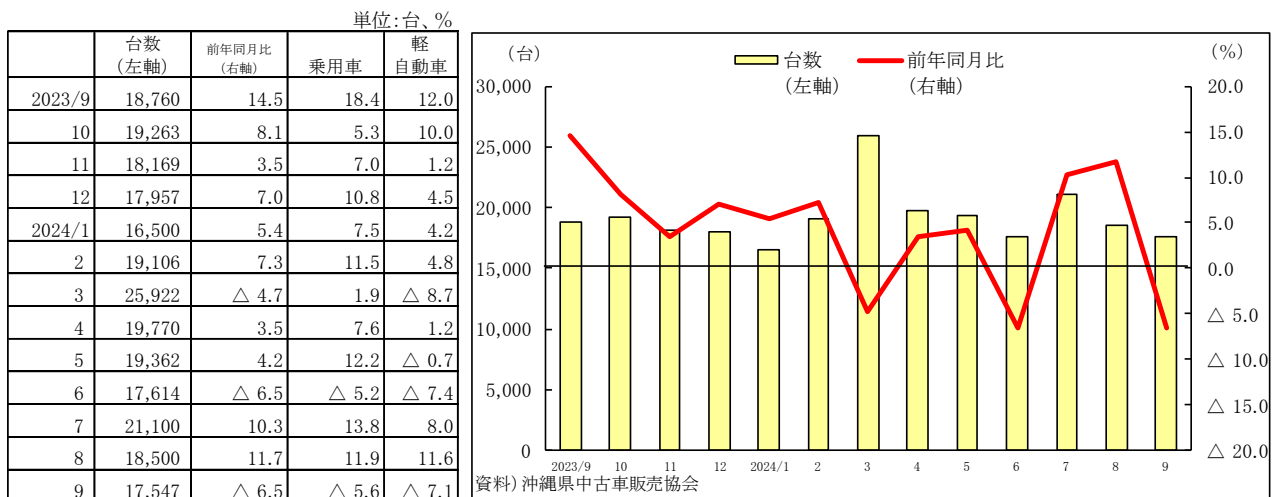


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,968台(同2.2%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同2.7%増)」は、前年同月を上回りました。「小型乗用車(同1.4%減)」、「軽乗用車(同6.0%減)」は、前年同月を下回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

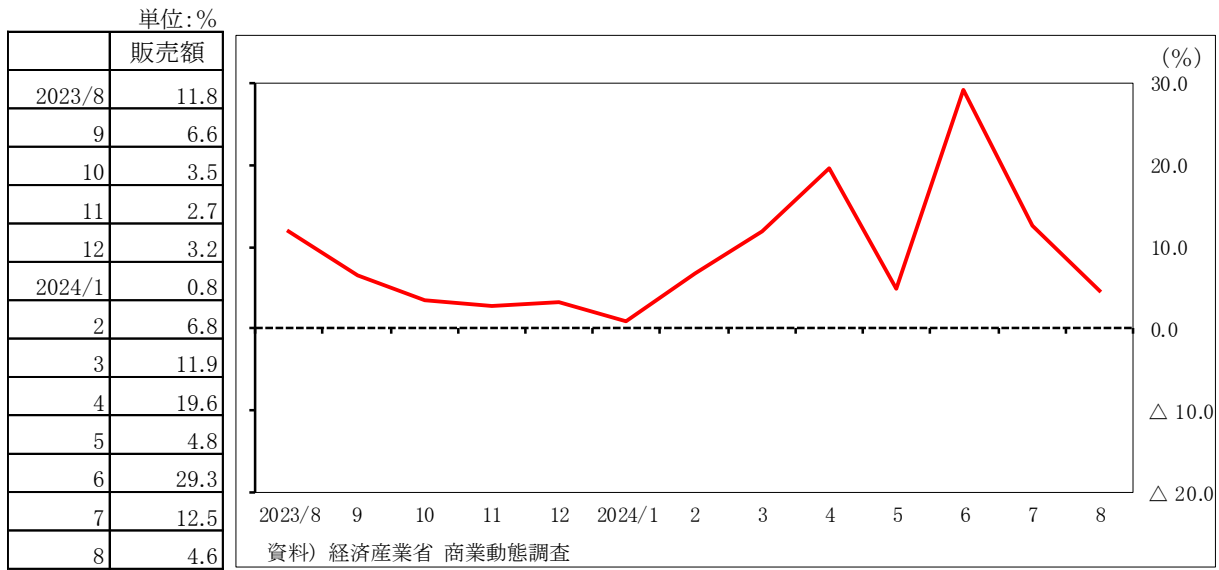


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で17,547台(同6.5%減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同5.6%減)」、「軽自動車(同7.1%減)」は、ともに前年同月を下回りました。

④ 【参考：8月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



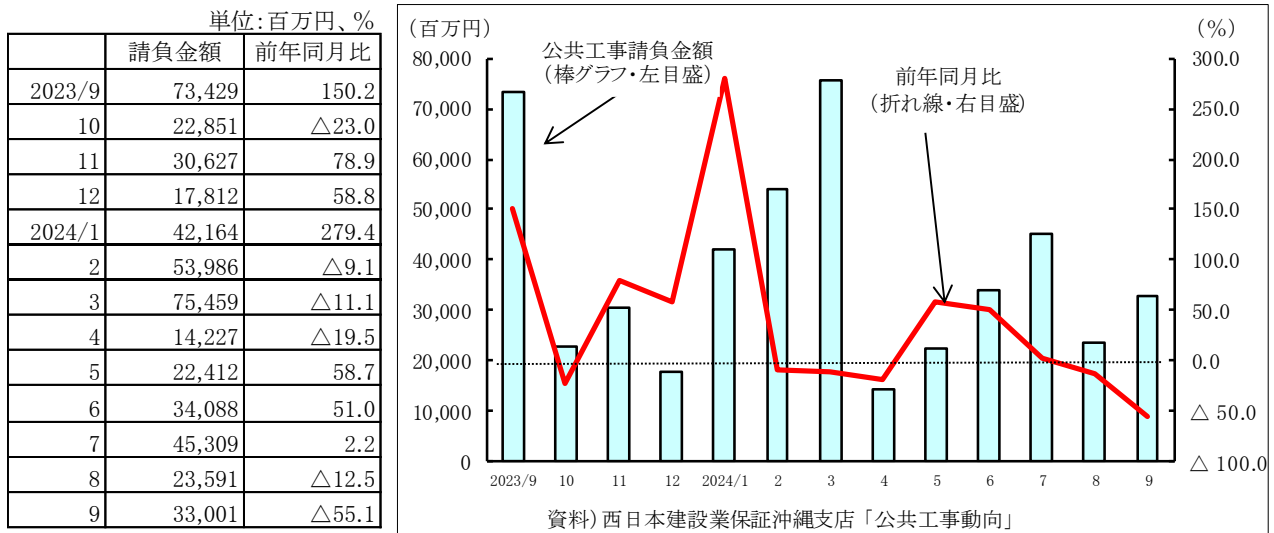
注) 前年同月比

8月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

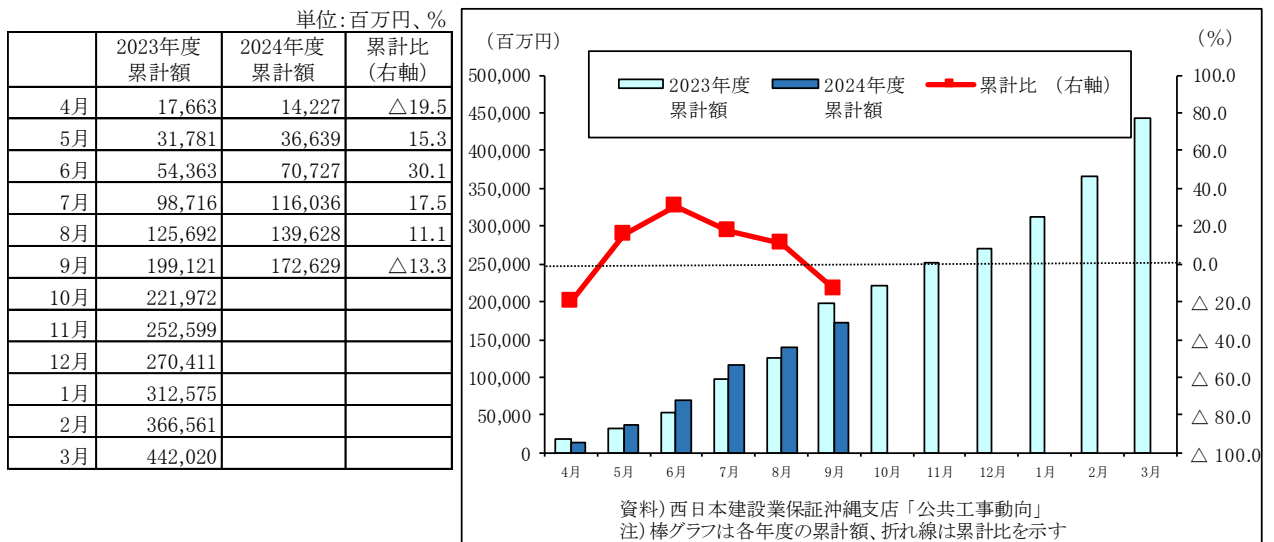


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



【参考】公共工事(年度累計)・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



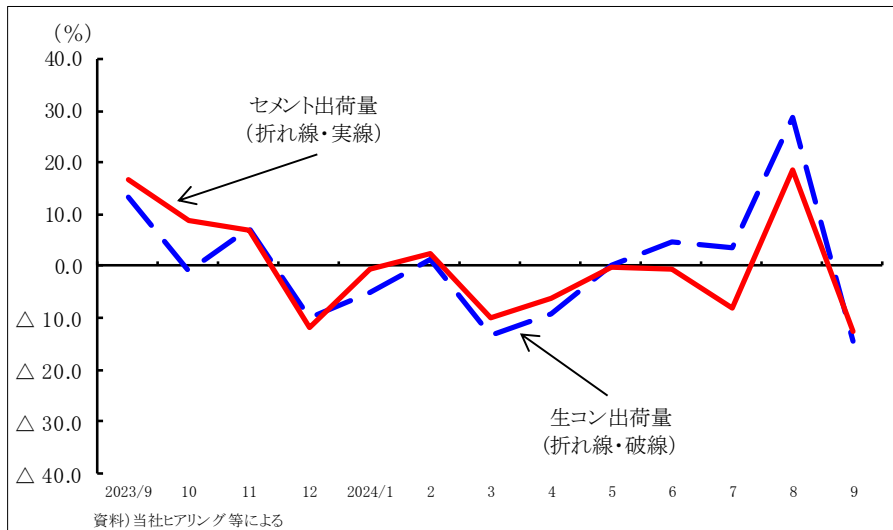
9月の公共工事請負金額は、前年同月比 55.1%減の 330 億 100 万円となりました(2ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「国(同 78.3%減)」、「その他の公共的団体(87.4%減)」、「沖縄県(同 13.6%減)」、「市町村(同 5.3%減)」は前年同月を下回りました。一方、「独立行政法人等(393.7%増)」は前年同月を上回りました。

② 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2
5	0.1	△ 0.4
6	4.8	△ 0.6
7	3.4	△ 8.2
8	28.6	18.6
9	△ 14.6	△ 12.5



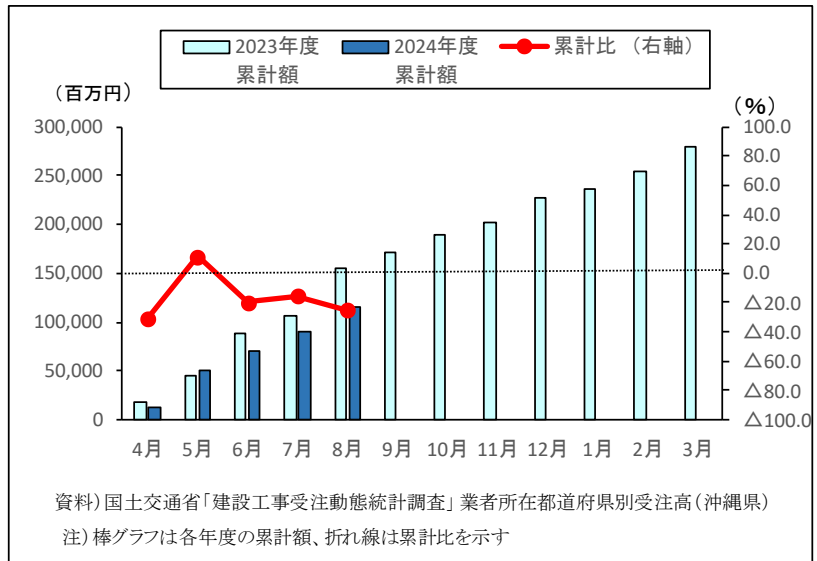
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 14.6%減と5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、中南部地区、北部地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 24.5%下回りました。民間工事向けは、全ての地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 9.4%下回りました。**セメント**の出荷量は、12.5%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③【参考】民間等元請受注高（年度累計）…前年同期を下回る。

単位:百万円、%

	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654	51,037	11.8
6月	88,815	71,203	△19.8
7月	106,797	90,334	△15.4
8月	155,056	116,251	△25.0
9月	170,863		
10月	189,095		
11月	202,154		
12月	226,690		
1月	235,764		
2月	254,964		
3月	279,940		

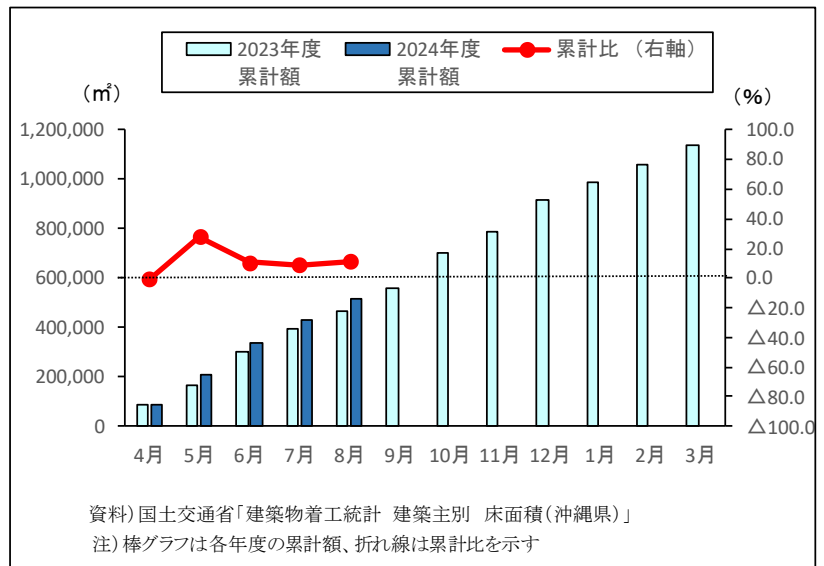


2024年度累計値では、25.0%減となっています。

④【参考】民間着工建築物床面積（年度累計）…民間（会社+個人）着工建築物の床面積は前年同期を上回る。

単位:㎡、%

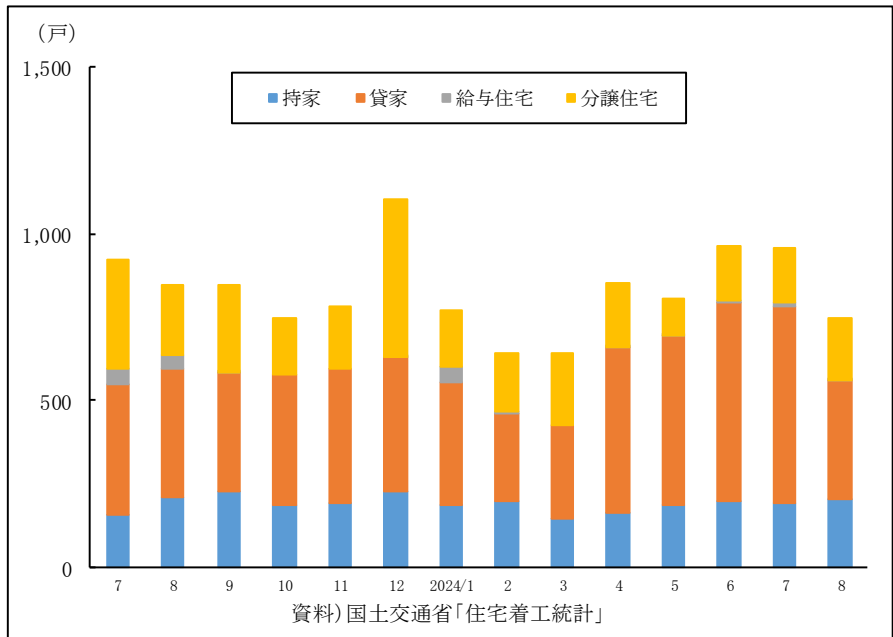
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	88,485	87,961	△0.6
5月	162,447	207,647	27.8
6月	303,783	336,880	10.9
7月	392,409	428,079	9.1
8月	466,557	519,324	11.3
9月	558,003		
10月	701,807		
11月	786,859		
12月	915,849		
1月	984,568		
2月	1,058,296		
3月	1,136,681		



2024年度累計値では、11.3%増となっています。

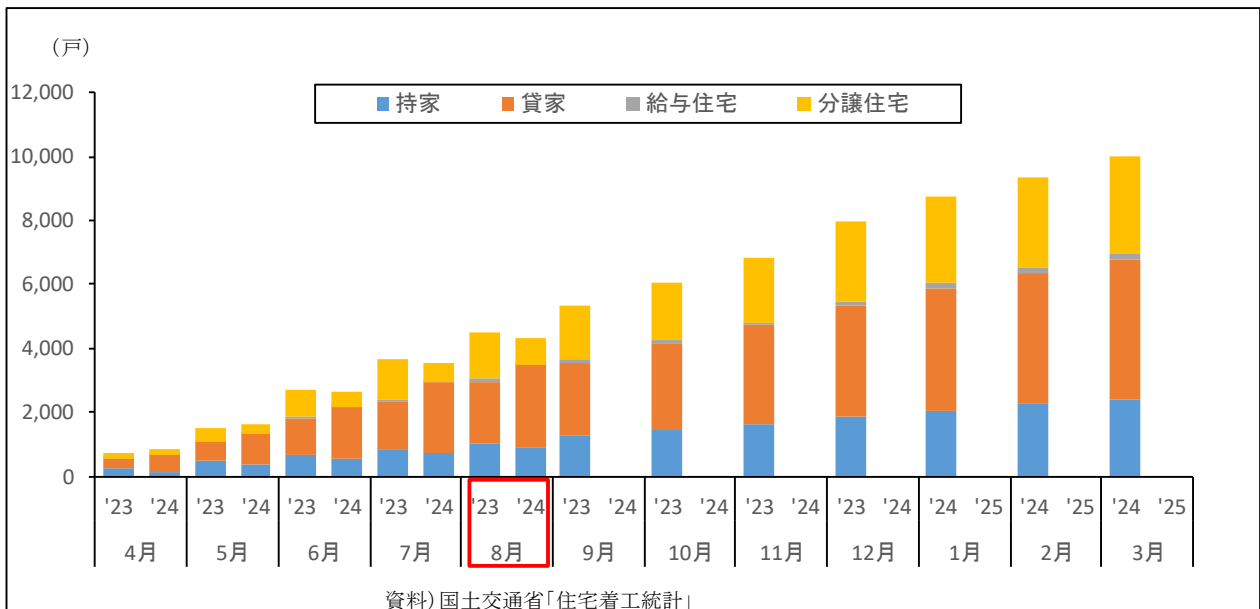
⑤【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。

	単位:戸、%	
	着工戸数	前年同月比
2023/7	924	26.4
8	847	4.6
9	845	21.1
10	747	15.3
11	782	0.6
12	1,102	7.3
2024/1	768	△14.2
2	640	△2.6
3	638	△4.8
4	852	16.2
5	804	4.7
6	962	△20.7
7	955	3.4
8	744	△12.2



8月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比12.2%減の744戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「給与住宅(同97.5%減)」、「貸家(同9.0%減)」、「分譲住宅(同13.2%減)」、「持家(同0.5%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(年度累計)・・・着工戸数は前年同期を下回る。

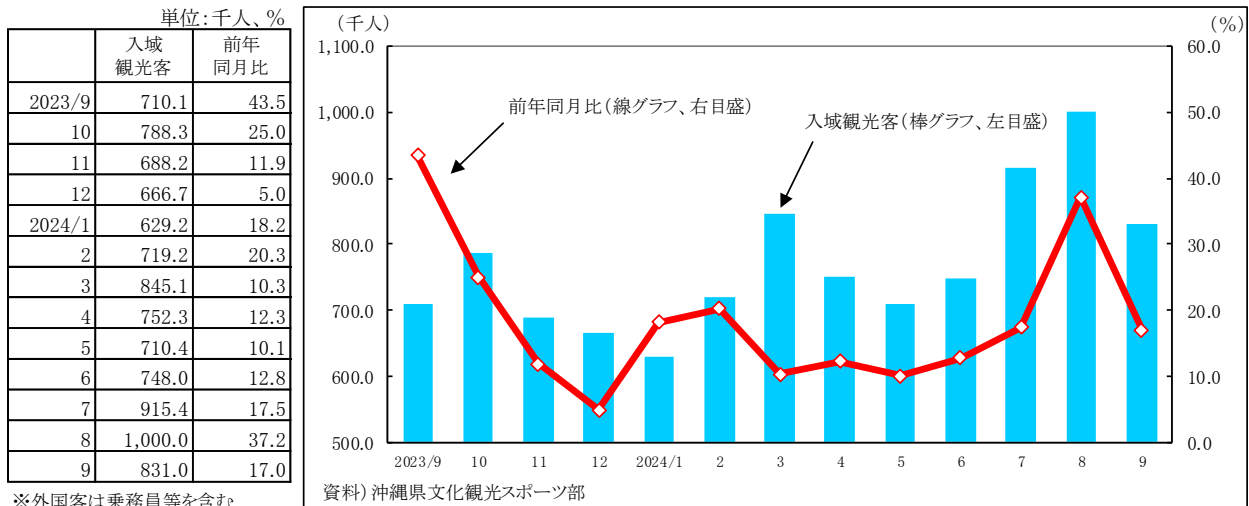


2024年度累計値では、3.7%減となっています。

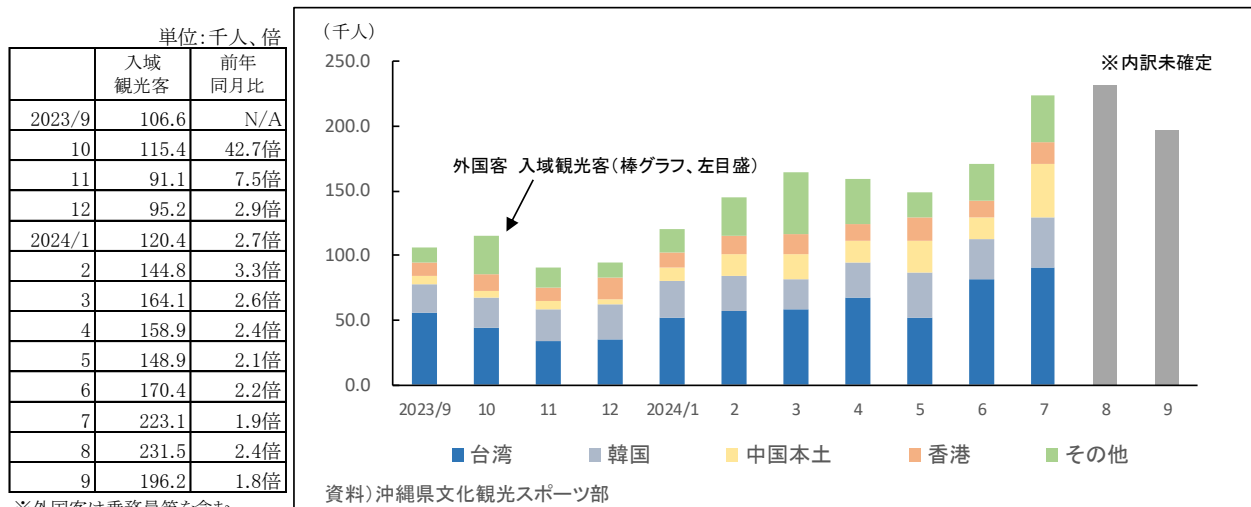


■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。



9月の入域観光客数は一部路線において台風による航空便の欠航等が発生したものの、東京・関西方面からの観光客数増加などにより 831,000 人(前年同月比 17.0%増)となり、34 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019 年同月比(国内客・外国客の合計)では、29,500 人増加(2.7%増)と上回っています。

2019 年同月比(国内客)では、44,200 人増加(7.5%増)となっています。

外国客入域観光客数は、196,200 人となりました(空路 125,500 人、海路 70,700 人)。今後も空路、海路ともに外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

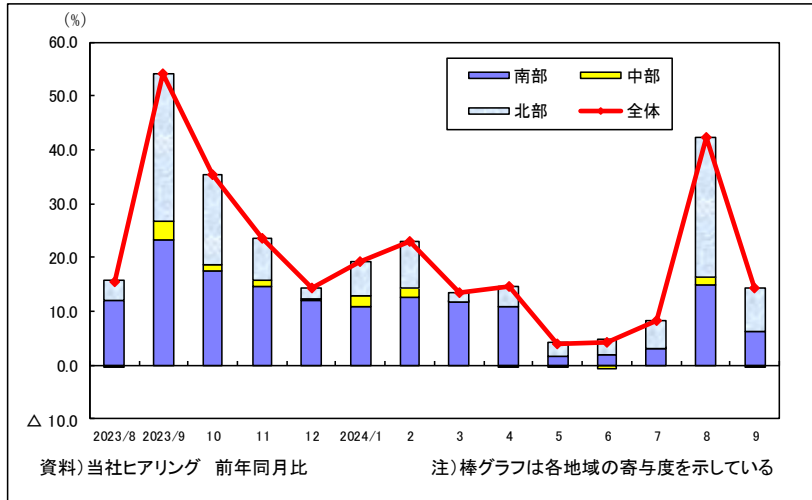
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位：％

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/9	54.2	78.1	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0
6	4.3	4.4	△ 7.4	5.9
7	8.3	8.8	0.4	9.0
8	42.3	43.3	19.1	44.9
9	14.3	18.2	△ 0.3	13.8

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



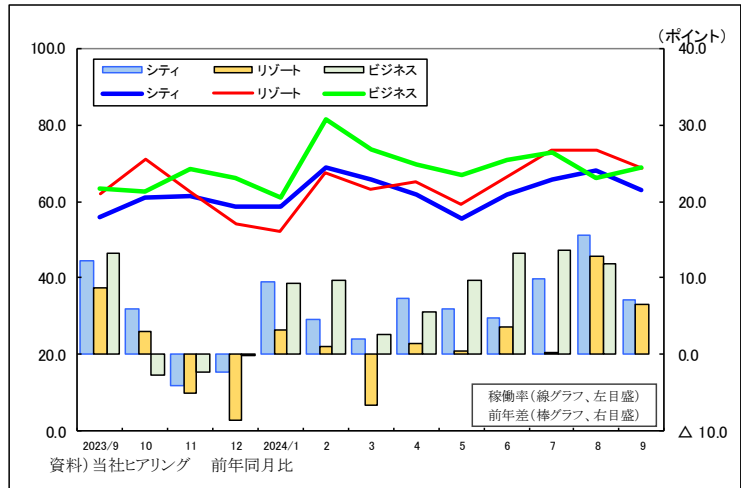
9月の観光施設入場者数は、全体では14.3%増となり30ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、北部の観光施設は13.8%増、南部の観光施設は18.2%増、中部は0.3%減となりました。(参考)2019年同月比では、全体で19.0%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は16.1%の減少、南部は26.8%の減少、中部は45.5%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	55.4	59.3	66.8	6.0	0.5	9.6
6	61.7	66.4	70.9	4.7	3.5	13.3
7	65.9	73.6	72.7	9.9	0.2	13.6
8	68.0	73.4	66.3	15.5	12.9	11.9
9	63.0	68.6	68.9	7.2	6.5	5.5

注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



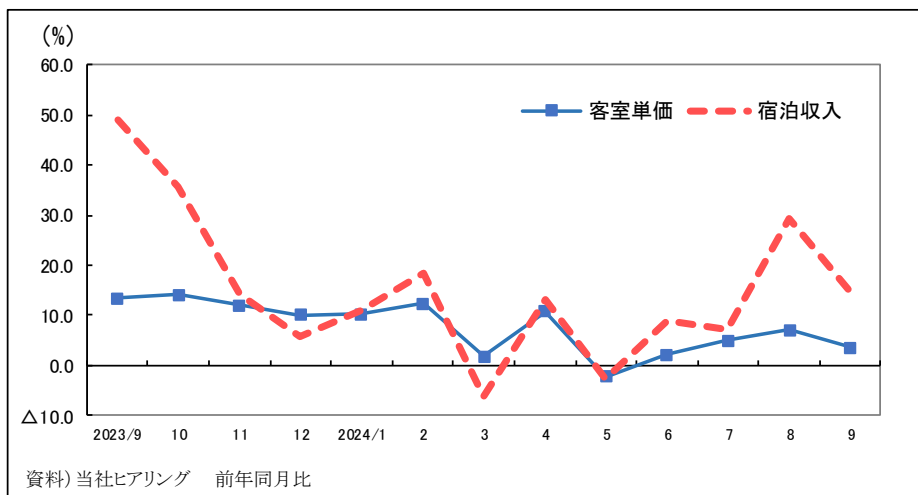
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 7.2 ポイント増加、リゾートホテルは 6.5 ポイント増加、ビジネスホテルは 5.5 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 14.5 ポイントの減少、リゾートホテルは 6.4 ポイントの減少、ビジネスホテルは 6.4 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△ 6.4
4	10.7	13.3
5	△ 2.2	△ 2.9
6	2.1	9.0
7	5.0	7.2
8	7.1	29.5
9	3.6	14.4



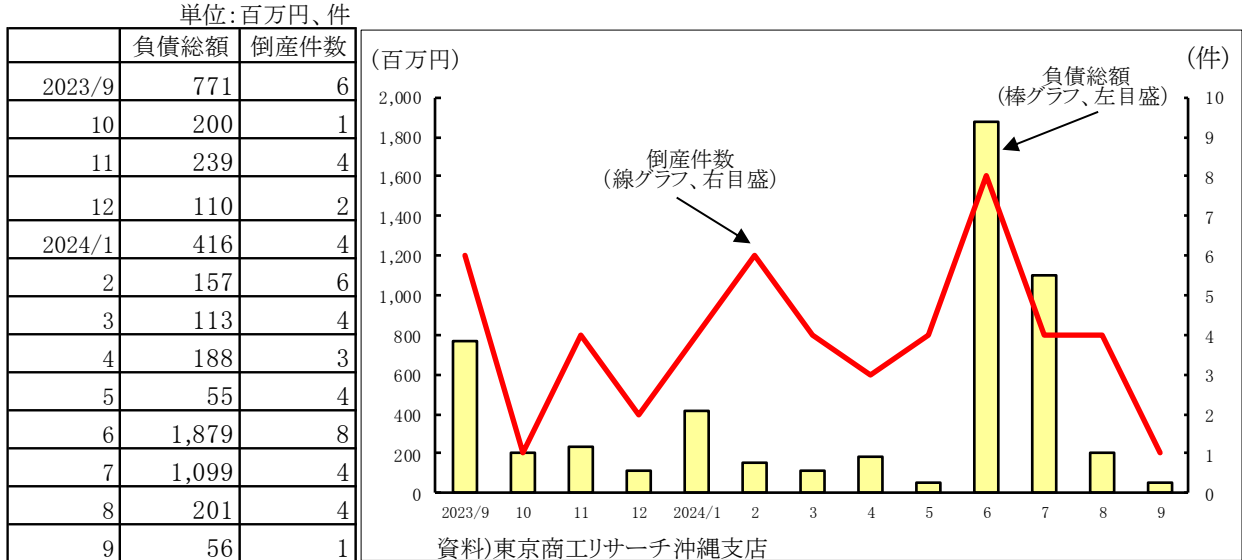
※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 3.6%増と4ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は 14.4%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 26.6%の増加、客室収入は 0.6%の減少となっています。

■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。



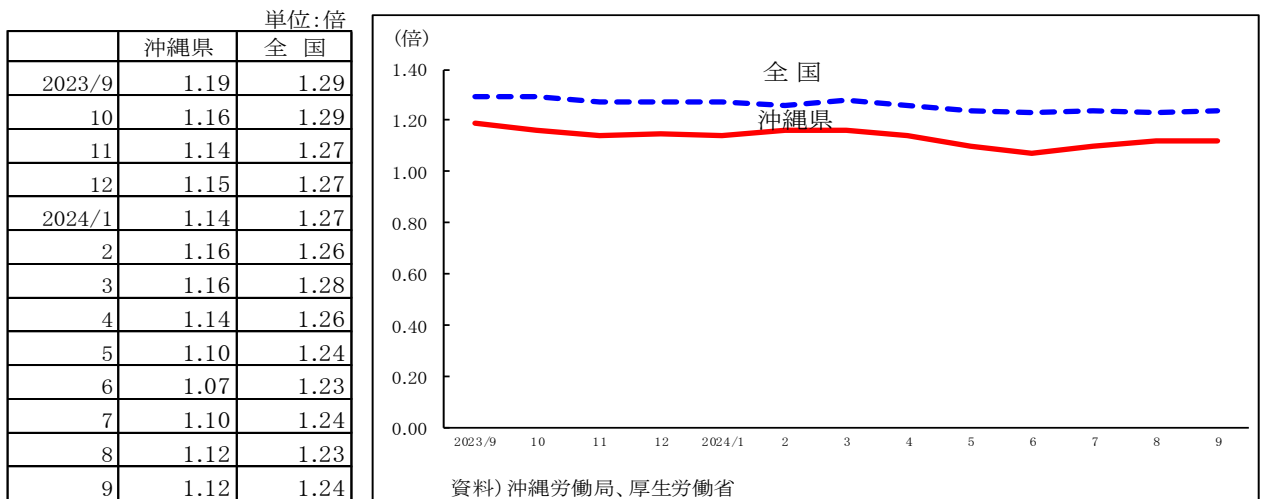
注)負債総額1,000万円以上を集計対象

9月の**企業倒産件数**は1件となり、前年同月を83.3%下回りました。

負債総額は5.600万円となり、前年同月より92.7%下回りました。

■雇用関連： (やや良い)

① 有効求人倍率・・・沖縄は前月と同水準、全国は上昇。



注)季節調整済

注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

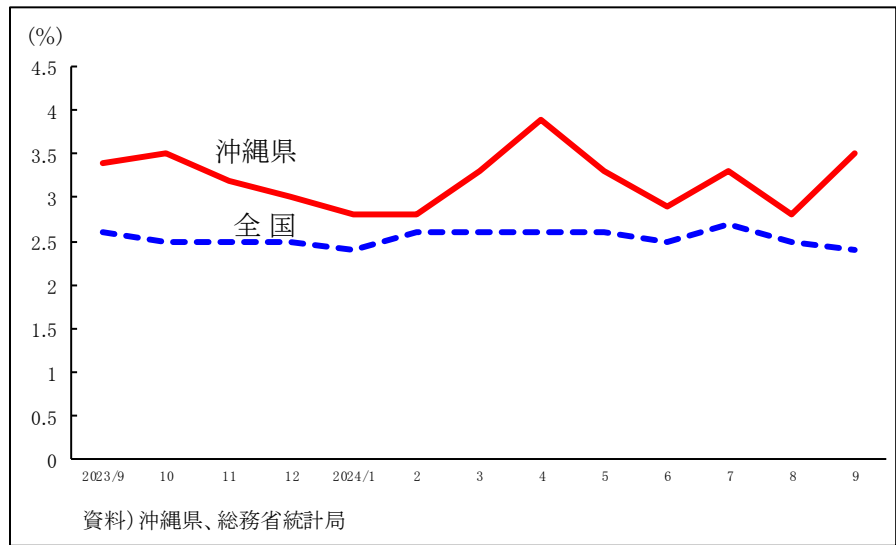
9月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.6%減の32,564人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.6%減の29,076人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は1.12倍と、前月と同水準となりました。

② 完全失業率・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6
4	3.9	2.6
5	3.3	2.6
6	2.9	2.5
7	3.3	2.7
8	2.8	2.5
9	3.5	2.4

注) 季節調整済



9月の完全失業率(季節調整値) は、3.5%となり前月より0.7ポイント上昇しました。